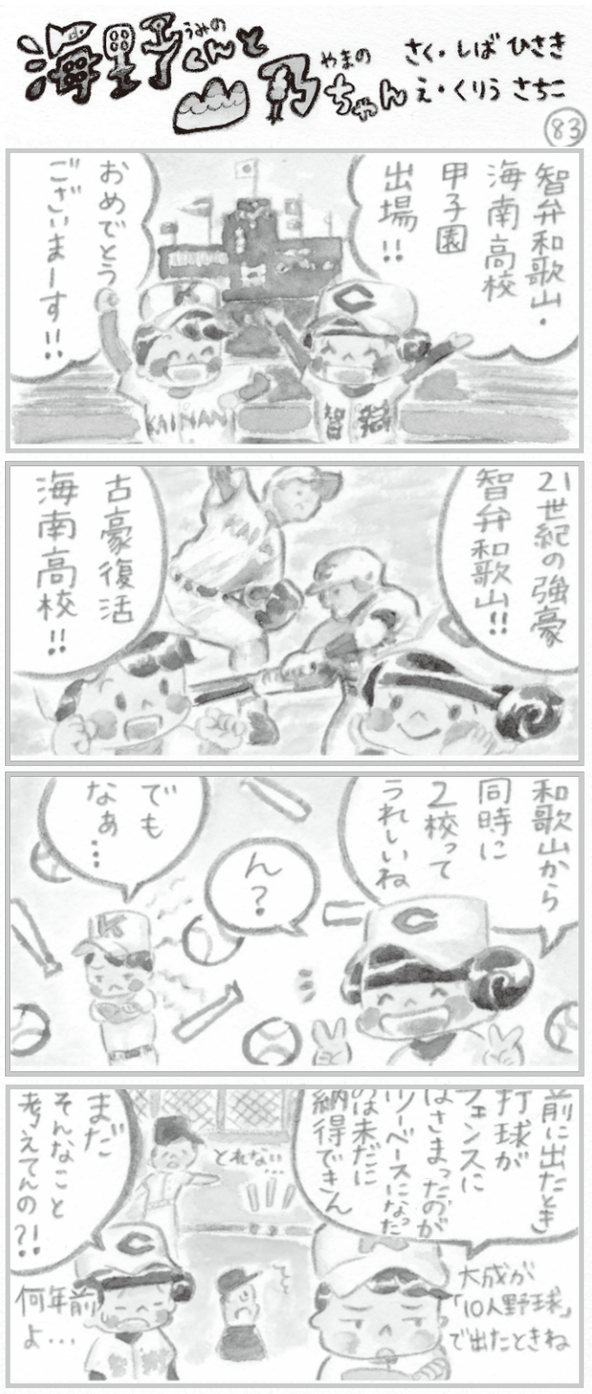
隔週金曜掲載

特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL http://www.wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.83
2014.02.28

NPO 基礎講座「NPO ってなに？」
【和歌山会場】
3 月 7 日（金）19:00 ～ 20:30
和歌山ビッグ愛 9 階会議室 B
参加費：300 円（資料代）
定員：10 名
詳しくは…
わかやま NPO 広場　検索



わかやま・ひめこらぼメンバー、全国セミナーで桃山町の桃 PR

全国の農林漁業に携わる女性をつなぐネットワーク「ひめこらぼ」の全国セミナーが、東京目白の日本女子大学で開催されました。現在進行中で、女性起業等の活動が各地域で展開される中、その成果を共有しあい、さらなる経営発展に役立てようというもの。和歌山からも 6 名が参加し、1 名が商品力アピールに参戦！全国ひめこらぼメンバーの前で和歌山県を PR しました。

（上）パワーポイントを使って説明をする薮本さん
（右下）桃の実をたっぷり使ったこだわりの一品。

和歌山から発信「桃みるく」をアピール

今年度、商品力アピールコンペに出場したのは、紀の川市・藪本畑下農園の藪本梓さん。全国から集まった 7 名のうちの一人として、あら川の桃、そしてそれを使って作るイタリアンジェラート「桃みるく」のＰＲをしました。

まず、一面に花が咲き、桃源郷と呼ばれる桃山町の風景がスクリーンに映し出され、会場を魅了。地域の紹介に続いて、安心安全でおいしい桃をと、できるかぎりの減農薬・無肥料で育て、完熟寸前ギリギリまで待って収穫するこだわりの桃について話し、その桃をたっぷり贅沢に使って作る「桃みるく」の紹介に進みます。たった 5 分間でしたが、思いがたっぷり伝わる素晴らしいプレゼンテーションでした。

別室では、参加者がそれぞれ持参した農産加工品の試食が行われ、そちらも合わせて審査されます。藪本さんの「桃みるく」は、見事「技あり賞」を受賞。桃農家らしいジェラートを届けたいと、自慢の桃の実をごろっと入れた「技」などが評価されたのでしょう。

次世代の女性農業者が活躍する場を

まだ子育て真っ最中の藪本さん。忙しい中でもこういうコンペに参加したのは、やはり自家農園の桃やそれで作るこだわりの商品を広く知ってもらいたかったから。アピール力と、商品そのものの味わいがしっかり評価されました。審査員の 1 人、フードジャーナリストの向笠千恵子さんに、「本当に桃の味がよかったです。みるくの部分ももう少し桃の色があれば」と感想とアドバイスをもらっていました。

「たいへんだったけど、いろいろ勉強になりました。来てよかったです」と、藪本さん。これまでは外部委託で製造していたジェラートですが、この度、自家加工所が完成、これで小ロットの試作も可能になり、思う存分商品作りに取り組める環境ができました。近いうちにジェラテリアもオープンしたいと目を輝かせています。

農業就労人口の男女比は、女性が半数を超えています。そんな状況において、特に藪本さんのようなこれからの時代を担う女性を応援する様々な仕組みが必要とされています。ひめこらぼネットワークはもちろん、企業と結びつきながら農業で活躍する女性の姿をアピールしていく「農業女子プロジェクト」なども注目です。全国のそういった動きと連動しながら、【わかやま・ひめこらぼ】も活動の方向を模索していきます。（西浦浩子）

商品力アピールに登場したみなさん。
大賞は、島根県「サザエの混ぜご飯の素」。

「桃みるく」藪本畑下農園
http://www.yabumotohatasita.com/arakawamomo/ice.html
農業女子プロジェクト
http://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyoujoshi/
農山漁村女性とつながる全国ネット
http://www.weli.or.jp/zenkokunetwork/
わかやま・ひめこらぼ・ネットワーク
ブログ　http://mican.kiilife.jp/ns/w-hime/blog/
Facebook　https://www.facebook.com/wakayama.hime

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

●記録映画上映会「希望のシグナル」－自殺防止最前線からの提言－
3月の自殺対策強化月間にあわせて東北の小さな町の取組を取材した映画を上映。「いきること」や「つながり」「私たちの街でもできること」を考えてみませんか。
日程　3 月 7 日（金）
14:00 ～ 16:00
場所　県立情報交流センター Big・U 研修室 4
入場料　無料（申込み必要）
問い合わせ　和歌山県精神保健福祉センター（073-435-5194）

●ふるさと劇団海南座 初公演『ウルシノネイロ』～鳴り止まない海南ロック～
吉本興業の住みますプロジェクト第 2 幕として立ち上がった海南発の市民劇団初公演！
日時　3 月 8 日（土）13:30 ～
場所　海南市民交流センター
入場料　前売り 1500 円、当日 2000 円
問い合わせ・申込み　K プロジェクト事務局（073-495-2573）

●演劇集団和歌山公演　「見果てぬ夢」
「夢」は実現するものだろうか？病院を舞台にコミカルに描いた作品。
日時　3 月 8 日（土）・9 日（日）・15 日（土）・16 日（日）いずれも 14:00 ～、18:00 ～
場所　和歌浦小劇場
入場料　前売りは一般 2000 円、中高生 1200 円。当日は各 300 円増。
問い合わせ　演劇集団和歌山（073-445-4537・夜）
備考　前売り券は和歌山県民文化会館、和歌山市民会館、和歌の浦アート・キューブで取り扱い。

●和歌山雅楽会第 14 回定期演奏会
第 34 回市民文化まつり、創設 60 周年記念公演として開催されます。
日時　3 月 9 日（日）14:00 ～
場所　和歌山市民会館小ホール
参加費　前売り一般 2000 円（当日 2500 円）、学生 500 円
問い合わせ　和歌山市民会館（073-432-1212）
備考　前売り券は和歌山雅楽会（073-436-4445）、和歌山市民会館、音楽文化堂、服部楽器、宮井楽器、ミュージックマート・イワキ狐島店、和歌浦観光協会ほかで取り扱い。

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC 版　http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版　http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

JI-MO TIMES Vol.15

団体のミッションや事業内容を丁寧に伝える努力を！

公益財団法人わかやま地元力応援基金　監事 **秋岡安さん**

和歌山市在住
秋岡税理士事務所 所長

原点

生まれは熊本県熊本市ですが、幼いころに大阪に引っ越し、小学４年生までは大阪市で過ごしました。高校卒業後は、東京の大学に進学し、学生時代の４年間を過ごしました。

将来のことを考え、まずは手に職をと入学当初は公認会計士を目指していましたが、公認会計士でもある大学ＯＢから「君は公務員が向いている」と言われ、国税専門官を志すようになり、大阪国税局に採用となりました。

和歌山税務署では法人税の担当として税理士と仕事する機会が多く、自分も早く税理士になろうと考えるようになりました。働きながら専門学校に通い、無事税理士免許を取得、平成４年に退職して独立開業しました。

ＮＰＯなど非営利組織に関わるようになったのは、大阪市社会福祉協議会で勤務している先輩から相談を受けたことがきっかけでした。その後、特定非営利活動法人大阪ＮＰＯセンターのＮＰＯたすけ隊のメンバーとなり、また認定特定非営利活動法人ＮＰＯ会計税務専門家ネットワークを通じて社会福祉法人大阪ボランティア協会にも関わるようになりました。

どうして監事になったのか

税理士としてＮＰＯの手伝いをしようと特に考えてはいなかったのですが、気づけば人の縁で非営利組織の会計・税務に詳しくなりました。企業と比べＮＰＯに関わる人は、良い意味でも悪い意味でも純粋だと感じます。税理士として自分の専門性でＮＰＯを支援していくことはもちろん、汗をかかないと仕事には繋がらないということも伝えていきたいです。

メッセージ

寄付される方には、ご自分が寄付する団体の決算書や事業報告書をよく確認して欲しいと思います。その団体が赤字なのか黒字なのか、寄付金がどういう使われ方をしているのか、分からなければ団体に問い合わせてみてください。そうすることで団体の情報開示や事業をアピールする力を伸ばすことができます。

寄付を広く募集したい団体は、一般の方に読んでもらえる事業報告書を作成して欲しいですね。所轄庁に提出している書類をお送りするだけでは説明不足です。自分たちの団体のミッションや事業内容を丁寧に伝えることで、寄付獲得に繋がると考えています。

地元力財団の理事、監事のご紹介はいよいよ次回が最終回となります。
次回 Vol.16 は有井専務理事です。

公益財団法人
わかやま地元力応援基金
640-8331
和歌山市美園町 5-6–12
Tel.073-428-0011　Fax.073-428-0012　URL www.jimotofund.com

取材：出原敬介
編集：児玉夏希